

平成 22 年 4 月 23 日現在

研究種目：若手研究（B）
研究期間：2007～2010
課題番号：19720040
研究課題名（和文） 連歌百韻・千句古注釈の総合的研究

研究課題名（英文） The overall study of old annotation about Renga-Hyakuin, Senku

研究代表者

長谷川 千尋 (HASEGAWA CHIHIRO)
北海道大学・大学院文学研究科・准教授
研究者番号：90431296

研究代表者の専門分野：人文学
科研費の分科・細目：文学・日本文学
キーワード：連歌、古注釈、伊勢千句、宗牧

1. 研究計画の概要

本研究は、中世に成立した連歌の百韻・千句に付された古注釈を網羅的に調査収集し、必要に応じてその翻刻資料を提供するとともに、各作品の古注釈の生成過程を明らかにし、古注釈がもたらす情報を、作品研究において最大限に利用しようとするものである。本年度は、（1）昨年度中に資料収集と翻刻を終えている『伊勢千句注』の追加調査と、（2）宗牧を中心とする以下の作品 5 点 10 本の古注の調査を計画している。

- ①『宗牧月並千二百韻』
- ②『雪牧両吟住吉法楽百韻』
- ③『宗牧独吟竹生島百韻』
- ④『宗牧独吟何人百韻』
- ⑤『年次未詳宗牧独吟賀茂社法楽百韻』
「波の音」

2. 研究の進捗状況

（1）前年度に翻刻を終えた『伊勢千句注』七種類八本（第二種注、第三種注、第四種注、第六種注、名古屋市鶴舞中央図書館蔵本、甲子庵文庫蔵本、名古屋大学皇學館文庫蔵本、神宮徴古館蔵本）のうち、第二種注、名古屋

市鶴舞中央図書館蔵本の翻刻確認作業を行う、他の古注についても来年度、引き続き行う予定である。また、既に『連歌古注釈の研究』に翻刻が公刊されている第一種注の内閣文庫蔵本についても、翻刻の確認が必要であり、原本の複写物を取り寄せて進めている。

（2）研究計画に記した①～⑤のうち④『宗牧独吟何人百韻』（天文十四年二月二十五日興行、発句「花の色もとり音おしむ夕かな」）については、諸本の悉皆調査の結果、古注は三種あり、第一種注が宮内庁書陵部蔵桂宮本（桂宮本叢書第十八巻『連歌 一』に翻刻）、第二種注が大東急記念文庫蔵本と天理図書館蔵本、第三種注が京都大学附属図書館谷村文庫蔵本に分類できることを確認し、未翻刻資料である第二種注、第三種注の翻刻を行った。各注釈とも、百韻の興行時期に近い成立と見られる質の高い注である。大東急記念文庫本の影印が『大東急記念文庫善本叢刊 中古中世篇 連歌二』（汲古書院、2009年）に収録されるのに伴い、同書の解説を執筆した。なお、①②③⑤の作品の古注の調査は、来年度に引き続き行うこととする。

3. 現在までの達成度

③やや遅れている。研究代表者の妊娠・出産により長期間飛行機に搭乗できず、調査先への出張ができなかったため。

4. 今後の研究の推進方策

2009年度に達成できなかった課題に引き続き取り組むとともに、研究計画書に記した2010年度の研究を推進させる。但し、2010年4月～9月の育児休暇取得のため、10月以降に集中して取り組むこととなる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

① 長谷川千尋, 「細川幽斎の連歌」, 『戦塵の中の学芸』(仮題), 無, 2010, 掲載確定

〔学会発表〕(計0件)